



兵庫県立大学 生涯学習公開講座ダイジェスト

平成 28 年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座

おとしより体験

日 程:平成 28 年 8 月 4 日 (木) 13:00-16:00

受講者数:小学生

会 場:兵庫県立大学明石看護キャンパス地域ケア開発研究所 3F 演習室

講 師:大野かおり (在宅看護学)、船越明子 (精神看護学)、九津見雅美 (老人看護学)

○テーマ・概要

【講義】おとしよりのイメージをもう一度考えてみよう

【体験】メガネをかけたたり、くるまいすにのったりして、おとしより体験をしてみよう

○内 容

“おとしより”のイメージについて、人の特徴を示す文やイラストが記載されたカードを「あかちゃん、こども、おとな、おとしより」のいずれかに貼ってもらい、貼る際になぜそこに貼ったのかを子どもに尋ね、分類されたカードを見ながら、「あかちゃん、こども、おとな、おとしより」の特徴をまとめました。

おとしより体験は、グループにわかれて実施しました。具体的な内容として、①視聴覚などコミュニケーションに関すること（耳栓をして携帯電話をかける）、②手指の巧緻性低下、視力低下の体験（特殊眼鏡をかけ視力低下を体験する、手袋をして袋を破いてラムネをお皿に出して箸で食べる）、③車いす体験（利き手を固定し同じ側の足に砂嚢を装着して片麻痺を体験し車いすにのる）を行いました。

最後に、おとしより体験の感想を子どもたちに発表してもらい、はじめに抱いていたおとしよりに対するイメージを再考し、実際のおとしよりの生活について新たに気付いたことをみんなで共有しました。

アンケートでは、「おとしよりはふべんだった。…いろいろみんなに手つだってもらわないといけないことがありました。おり紙が、きれいにおれなかったです。でも、おとしよりの人たちは、毎日、そうして、くらしています。…おとしよりの人がこまっている人がいたらたすけてあげようと思いました。

(4年生)」など、多くの感想が得られました。

